

◎香川短期大学が提供する県内小中高校生向け出前講座等一覧

No	テーマ	内 容	対象者			学 科	氏 名	問合せ先
			小学生	中学生	高校生			
1	FPについて学ぶ	お金の悩む人は多くいますが、誰に相談すればよいのか、この疑問に対する回答がFP(ファイナンシャルプランナー)といった職業の人達です。FPの仕事内容を知ると同時に、FPの知識が私たち生活者にとって何役に立っていることを、いくつかの事例を紹介しながら一緒に考えます。	—	—	○	生活文化学科	教授 篠原正美	香川短期大学 入試広報部 0877-49-8033
2	認知症について	高齢者の長寿化・増加に伴い、認知症高齢者も増加傾向がみられます。家族や近隣の方など、身近な人にも認知症が現れる可能性は高まっています。認知症の人の言動に適切に接することができるような方法を学びます。	○	○	○	生活文化学科 生活介護福祉専攻	教授 黒木ひとみ	
3	障がい者とスポーツ	私たちがスポーツをする目的は、「健康のため」「仲間作り」「大会に出たい、勝ちたい」など様々ですが、障がい者も同じです。ただ、障がい者はその障がい特性に合った道具やルールでの工夫が必要です。そこで、障がい者はどのようにしてスポーツを楽しんでいるのかを紹介します。	—	—	○	生活文化学科 生活介護福祉専攻	教授 草薙真由美	
4	セルフハンドケアでリラックス～癒し術を体験しよう～	手は普段からいろいろな場面で活躍しています。手は脳との関係が深く、手の動きはそのまま脳の働きともいわれます。また、手の甲と手の平には全身の臓器や骨格が投影されていて、各部分にそれぞれ意味があります。自分自身の手指と向き合い、丁寧にほぐすことで心も体も癒されます。誰でも簡単に、安全にできるセルフハンドケアを体験してみてください。 *手洗いの場所がなくても構いませんが、あればより望ましい。	—	—	○	生活文化学科 生活介護福祉専攻	講師 薦田美貴世	
5	音楽の力～治療としての音楽とは～	近年、注目されている音楽療法。音楽が人間の心や体にどんな影響を与え治療としての役割を果たすのか。実際に歌ったり楽器を鳴らしたりして、体験的に音楽の持つ力を実感してみましょう。	—	○	○	生活文化学科 生活介護福祉専攻	教授 岩永十紀子	
6	食育フード模型「SAT システム」を用いた食事診断(講義と演習)	バランスの良い食事とはどのようなものなのでしょうか?日頃、みなさんが何気なく摂っている食事は適切なものなのでしょうか?誰でも直感的に理解できる体験型食事教育システム(食育SATシステム)を活用し、自分の食生活の改善策や食生活の望ましいあり方を考えてみましょう。食育 SAT システムは、実物のフードモデルを選んでセンサーボックスに乗せるだけで、瞬時にその食品のエネルギー、栄養素量を計算し、モニター画面上で確認することができるので、見えない栄養素や自分に合った量や食べ方を直感的に理解することができます。	○	○	○	生活文化学科 食物栄養専攻	教授 垣渕直子	
7	弁当の詰め方から食事バランスを学ぼう(講義と実習)	私たちは毎日、一回の食事に、どんなものを、どれだけ食べればバランスのとれた食事ができるのでしょうか。このことを知るために、身近な弁当箱を使って開発された「3・1・2弁当箱」を紹介し、そのルールをわかりやすく説明します。その後、実際に弁当箱に料理を詰め、実体験を通してそのコツを学びます。	—	—	○	生活文化学科 食物栄養専攻	教授 次田一代	
8	郷土料理と一緒に作ろう(講義と実習)	自分たちの住む地域の郷土料理の歴史や文化を学び、一緒に地域の食材を使った料理や郷土料理を作ってみましょう。一緒に作り、食べることから郷土の良さや生活の知恵が生かされていること学び、これからの食生活に行かせます。	○	○	○	生活文化学科 食物栄養専攻	准教授 松永美恵子	
9	幼児期の音楽表現の必要性について(保育現場の音楽表現体験を通して)	音楽にはどんな効果があるか知っていますか。幼児期の音楽表現は、自己表現の広がりや仲間とのかかわりなど表現遊びの第一歩です。幼児期の表現は一人表現、少人数表現、そして集団表現へと表現活動が変化する大切な時期です。保育現場の音楽表現を体験し、子どもの発達や遊びを理解しましょう。	○	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	教授 安藤千秋	
10	福祉の職種と役割を理解しよう	核家族化・少子高齢化に伴い、家族の役割は変容し福祉職の役割は幅広くなっています。現在の社会の現状を知り・考え、福祉職の仕事について理解します。それと同時に、自らが困った場合に活用できる、福祉分野を中心とした社会資源を学びましょう。	○	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	准教授 辰巳裕子	
11	ストレスの理解を通して心の健康を考える	「ストレス」という言葉をよく聞きますが、ストレスとはいったい何でしょうか?私たちの生活に影響を及ぼしているストレスへの理解や対処の仕方を学ぶことを通して、自分の生活を振り返り、心の健康について考えてみましょう。	—	—	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	教授 北濱雅子	

12	子どもの世界をのぞいてみよう	子どもの世界は大人とはちがう独特な世界です。その世界を理解することは案外むずかしいことなのですが、とても興味深いことでもあります。子どもの気持ちや発達について知るために、子どもたちの好きな遊びを実際に体験してみましょう。	—	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	准教授 松下由美子
13	合唱・歌唱指導 (声帯を柔軟にして楽に発声する方法)	オペラ出演で身に付けた様々な発声法を長期にわたる合唱団指導で活かしながら確立した、声楽の専門的指導を受けていない方にも有効な発声方法を指導する。随意筋の利用により声帯付近の状態を適性に保つことができ、楽に高域音や良く響く声を出すことができる。	○	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	教授 田中雅純
14	手工芸(染色・レザークラフト)体験	手仕事の継承が減少している昨今、染色やレザークラフトの作品制作により、ものづくりの楽しさ、手づくりの良さを感じとる機会を提供する。制作を通して、デザインの創造性、工程・手間ひまを知り、作ったものを大切にする視点を養う。	○	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	教授 齊藤佳子
15	声楽を学ぼう(発声・歌唱・合唱)	皆さん！歌をうたうことが好きですか？身体を使って正しい発声を学び、自然で無理のない声の出し方を体験しましょう。そして楽しく発声、歌唱、合唱体験をしてみませんか。	○	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	教授 渡辺理香
16	保育室の環境構成について考えてみよう	子どもたちが過ごす保育室には、様々な物が配置されています。その配置にはそれぞれ意味があり、活動に応じて考えられています。保育室の環境について具体的な場面(製作活動、ゲーム、片づけなど)を想定しながら、子どもが主体的に活動できるような工夫について考えてみましょう。	—	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	准教授 林美代
17	じゃんけんを通して子どもの発達を見てみよう	いろいろな場面で用いるじゃんけんですが、子どもにとってじゃんけんができるようになるとはどのような意味があるのでしょうか。じゃんけんという遊びを通して子どもの発達、特に身体的発達と認知的発達について考えてみましょう。	—	○	○	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部	准教授 林美代
18	スマートフォンでのVR体験(演習)	スマートフォンとハコスコを使って、VR(バーチャルリアリティ:virtual reality)によるバーチャル観光を体験していただけます。機材は、こちらで準備します。	—	—	○	経営情報科 情報ビジネスコース	教授 森藤義雄 講師 門田衣里 講師 今井将紀
19	人型ロボットでのアプリ作成(演習)	人型ロボットpepperを使って、コレグラフによるアプリ作成を体験していただけます。機材は、こちらで準備します。	—	—	○	経営情報科 情報ビジネスコース	教授 森藤義雄 講師 門田衣里 講師 今井将紀
20	ローカルから世界へ～デザイン・アートで発信する～	地方から世界へ発信できる時代です。デザイン・アートにおける世界をつなぐ力を紹介します。様々な美術文化や新しい発信力を知ることで、自分たちが暮らす地域、そして世界へどのように貢献できるのかを考えます。	—	○	○	経営情報科 デザイン・アートコース	教授 濱野暢子 准教授 大嶋寛子
21	デッサンワークショップ	主に美術の授業が開講されていない高等学校を対象に行います。ものの見方とデッサンの基礎を指導します。	—	—	○	経営情報科 デザイン・アートコース	教授 濱野暢子 准教授 大嶋寛子
22	色と形のワークショップ	主に美術の授業が開講されていない高校を対象に行います。暮らしやデザイン・アートの表現における色と形が持つ意味を考え、色と形のより良い活かし方を学びます。	—	—	○	経営情報科 デザイン・アートコース	准教授 大嶋寛子 講師 今井将紀
23	こどもアート大学	学生が中心となってこども(そのご家族も含む)に絵画、造形指導を行います。造ったり描いたりしながら、よく見ることや感じることで、感動すること、考えることの面白さ、そして信じることの大切さを発見していきます。	○	—	—	経営情報科 デザイン・アートコース	教授 濱野暢子 デザイン・アート コース学生

香川短期大学
入試広報部
0877-49-8033